

1. 科目名 (単位数)	国際社会理解研究Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	EIIE4102
2. 授業担当教員	越野 香子			
4. 授業形態	講義、議論、発表		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	国際教育コース4年次必修科目			
7. 講義概要	4年次前期に提供された「国際社会理解研究Ⅰ」では、グローバル化が進む中、教育の在り方について模索しました。本授業では、「国際社会をよりよく理解するための教育の在り方」について更に追及し、各自、将来の進路や希望に合わせて、国際社会理解と教育に関するテーマを決定し、プロジェクトとして探求します。プロジェクトの例としては、社会調査法を使った研究調査、教材開発、国際理解をテーマとした授業計画の作成、などが考えられます。どのようなテーマを選ぶにしろ、プロジェクトを行うことにより、国際社会と教育について、自発的に問題を見出し、探求能力を高め、解決策を提案し、実行する力を育むことを目的とします。			
8. 学習目標	1. 国際社会について理解を深めるため、教育の役割についてテーマを選ぶ。 2. プロジェクトとおして、国際社会問題について、発見、探求、提案ができる。 3. 教育者として今回選んだプロジェクトの意義について、他者に説明できる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各自選んだ実地調査 (フィールドワーク)、研究計画書に基づいて行われた研究発表			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】住原則也 (他) 著『異文化の学びかた・描き方』世界思想社、2011。 【参考書】随時、参考資料を配布する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 以下の点が達成されたかを基準とし、評価される。 1. 国際社会について理解を深めるため、教育の役割についてテーマを選ぶことができるようになったか。 2. プロジェクトとおして、国際社会問題について、発見、分析、提案ができるようになったか。 3. 教育者として今回選んだプロジェクトの意義について、他者に説明できるか。 ○評定方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加意欲・態度 総合点の 20% 2 提出課題 総合点の 50% 3 プロジェクト 総合点の 30% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。			
12. 受講生へのメッセージ	1. シラバスを熟読し、講義の学習目標、成績評価等についてよく把握しておくこと。 2. iphone, smartphone, 携帯電話, その他通信機能のあるノートパソコンやタブレットの電源は切り、かばんの中に入れておくこと。 3. 本学規定により、3/4 (4回) 以上欠席すると単位の修得が認められないので留意しておくこと (遅延については、遅延証明書を当日又は次回講義までに担当教員に提出すること。遅延の累計回数が多い場合、遅延を認めない場合もあるため、注意すること)。 4. 成績総合評価の内、授業での積極的参加は比重が大きいため、分からないことは積極的に質問し、ディスカッションにも意欲を持って臨むことを勧める。 5. 不正行為への対応等について、本学は、「東京福祉大学・短期大学部 研究活動における不正行為への対応等に関する規程」を平成 26 年 12 月 4 日に制定しています。詳しくは、本学ホームページの大学紹介・研究活動のところを参照してください。文部科学省のガイドラインでは、「学生に対する研究倫理教育」を行うことが要請されているので、皆さんは、大学で自分の学習成果をレポートにしたり発表したりしていくうえでの倫理、つまり、守らなければならないことがあります。 <u>不正行為としては、1. 捏造(ねつぞう)、2. 改ざん、3. 盗用があります。</u> 不正行為については、適宜、処置がなされるので、これらについて十分に注意をして、勉学に臨んでください。			
13. オフィスアワー	授業時に通知する			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	教育を通しての国際理解と研究プロジェクト	事前学習	各自、国際社会理解研究Ⅰの授業で作成した研究計画書を見直し、改善点があれば授業で共有できる準備をしておく。	
		事後学習	研究計画書の見直し・加筆・修正	
第 2 回	教育現場での異文化理解・国際理解	事前学習	教科書『異文化の学びかた・描き方』pp. 1～22 を読み、昨年の授業の内容と照らし合わせながら「国際社会理解」「異文化理解」を教育現場における実例を見ながら考える。	
		事後学習	研究計画書の見直し・加筆・修正	

第3回	教育における異文化・国際理解のための視点	事前学習	教科書『異文化の学びかた・描き方』pp.23～48を読み、昨年の授業の内容と照らし合わせながら「国際社会理解」「異文化理解」を教育現場における実例を見ながら考える。
		事後学習	研究計画書の見直し・加筆・修正
第4回	研究倫理審査申請の流れについて	事前学習	配布された資料に目を通し、研究倫理審査申請の流れについて大まかな流れを把握しておく。
		事後学習	研究計画書の見直し・加筆・修正
第5回	フィールドワーク：調査スケジュール	事前学習	教科書『異文化の学びかた・描き方』pp.113～134を読み、調査スケジュールについて確認する。
		事後学習	研究計画書の見直し・加筆・修正
第6回	フィールドワーク：現地での注意点	事前学習	教科書『異文化の学びかた・描き方』pp.135～149を読み、現地での注意点について確認する。
		事後学習	研究計画書の見直し・加筆・修正
第7回	フィールドワーク：インタビュー	事前学習	教科書『異文化の学びかた・描き方』pp.150～166を読み、インタビューについて確認する。
		事後学習	研究計画書の見直し・加筆・修正。フィールドワークの準備をする。
第8回	「フィールドワーク・ジャーナル」について	事前学習	フィールドワーク・ジャーナルに記入し授業で報告する準備を進める。
		事後学習	意見交換で出た内容を参考に。ジャーナルに記録した内容を顧みる。
第9回	フィールドワーク開始にあたっての確認事項	事前学習	フィールドワーク・ジャーナル記入し授業で報告する準備を進める傍ら、5回～8回で学んだフィールドワークについて復習しておく。
		事後学習	意見交換で出た内容を参考に。ジャーナルに記録した内容を顧みる。
第10回	フィールドワーク中間報告について	事前学習	フィールドワーク・ジャーナル記入し授業で報告する準備を進める。
		事後学習	中間報告の仕方についての説明でとったメモをまとめる。
第11回	学生によるフィールドワーク中間報告	事前学習	フィールドワーク・ジャーナル記入し授業で報告する準備を進める。
		事後学習	意見交換で出た内容を参考に。ジャーナルに記録した内容を顧みる。
第12回	フィールドワーク内容報告を終えて	事前学習	フィールドワーク・ジャーナル記入し授業で報告する準備を進める。
		事後学習	各自、内容報告を顧み意見交換で出た内容も参考に。ジャーナルに記録した内容を再度確認する。
第13回	研究計画書に基づいて行われた研究発表 1	事前学習	研究発表者は、準備をする。
		事後学習	質疑応答で出た意見を顧み、今後研究計画・実行する上で役立つ。
第14回	研究計画書に基づいて行われた研究発表 2、研究発表の振り返り	事前学習	研究発表者は、準備をする。
		事後学習	質疑応答で出た意見を顧み、今後研究計画・実行する上で役立つ。
第15回	研究計画に基づいて行った研究発表についてのまとめ	事前学習	春・秋期の授業を振り返り、教育を通しての国際理解と研究について意見交換の準備をしておく
		事後学習	意見交換で出た内容を基に、国際社会理解を深めるため、教育の役割について考える。